

【教育目標】

○よく考えすすんでものごとに取り組む子ども ◎礼儀正しく思いやりのある子ども ○健康で明るい子ども

【目指す児童像】

問題発見・解決力、コミュニケーション力を身に付けて、学校・社会の中で自立・協働・創造できる子

思いやりの心をもって人と接し、学校や社会のルール・マナーを守り、礼儀作法を大切にできる想像力のある子

基本的な生活習慣を身に付け、身心の健康に努め、積極的にものごとに挑戦する子

～学校が担う事・家庭が担う事を明確に～ “子どもが主語になる学校” ～子どもに多様な学びの場と学習の楽しさを～

【授業スタイルの段階】

- 1学期：学習スタイルの定着（導入→斉組・個別・協働組に分かれた学習→まとめ）
 - 2学期：個別最適・協働的な学び「指導の個別化」（子どもの調整力の育成）
 - 3学期：個別最適、協働的な学び「学習の個別化」
- 【教科担任制の充実】
- 高学年は中学校に準じ、中学年は佃島スタイルの教科担任制、低学年は学級担任制（交換授業の実施）

【評価方法の改善】

- 各教科等の評価は学習指導要領に基づき適正に実施
 - 評価方法の工夫、ICTの活用
- 【ICTの活用とアナログのベストミックス】
- 板書・ノート活用、話し合い活動を大事に
 - ICTを活用して、より広く、より深い探求的学習の実践
- 【グローバル化社会への対応】
- 外国語・国際理解教育を充実させコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図る。
 - 佃島文化を授業で導入、つないでいく意識醸成

【特別活動の充実】

- 主体的、対話的活動の充実と自治活動の活性化（朝の30分活用）
 - デジタルシチズンシップ教育への進展
- 【ゆとりある子どもの学びの保障】
- ゆとりある時程（90分、一まとまりと40分授業の試行）

【学級づくりの3段階】

- 1学期：学級づくり〔規範意識の醸成〕、2学期は学習の成果〔安定化〕
 - 3学期：まとめ・次年度へ〔意識向上〕
- 【問題行動への対応】
- いじめは未然防止・早期発見・対応が第一、法令上のいじめは0
 - 暴力行為への個別対応と家庭と連携した対応
 - 児童虐待は早期発見・共有・相談・通告及び関係諸機関との連携
 - 学校のルール・マナー及び学習規律の徹底
 - 学校のルール・マナーは子どもと教職員で決める＝三者協議
 - ノーチャイムの実践（子どもも教師も時間を守る）
- 【不登校対応】
- 不登校は未然防止が第一、不登校児童には継続的対応と福祉機関との連携
- 【特別支援教育の充実】
- 特別支援教室（かもめ教室）拠点校として発達特性のある子どもへの個別等の指導の充実
 - インクルーシブ型教育を踏まえた指導の専門性の向上、教室環境・授業にUDの手法を導入
- 【安全・安心な学校生活】
- 子供がSOSを自ら出し、いつでも誰とでも相談できる人的環境と学校の相談体制の拡充
 - 子供の命を守る生活・交通・災害安全の指導の充実

【学校行事の充実】

- 体育的・学芸的・宿泊行事等は子どもの自主性を活かした企画・運営（運動会・音楽会・移動教室 etc）
- 【子どもの自主性の尊重】
- リーダーシップ・メンバーシップ・フォロアーシップの経験、学校・学年・学級の一員としての自覚向上
 - 学級活動や各行事等の実行委員会制度の活性化
 - 各学年で子どもが話し合っって企画・立案・活用する予算の確保
- 子ども会議室の設置
- 【体力向上】
- 体育の授業と体育的活動の充実
 - 運動会は子どもの体力向上における発表の場
- 【心の健康】
- 道徳の授業と道徳教育の推進・充実
 - 生命の大切さ、思いやりの心の育成
 - 子どものトラブルは迅速、丁寧、誠実に対応
 - 安心して学べる集団と差別・偏見を許さない学級風土の醸成
- 【からだの健康】
- 自分の体調を知り、自己管理ができる子どもの育成
- 【小中連携】
- 佃中学校との交流の充実
 - 幼稚園・保育園との交流の充実（保育・授業参観、新1年生の体験授業）